



夏の朝倉

こんにちは。

長かった梅雨が明けて、猛烈な暑さがやってきました。が、皆さんは如何お過ごしでしょうか。

朝倉ではいちじくやブルーベリー、葡萄、桃など美味しい果物が収穫できる季節になりました。

私の祖父母の家では、たくさん採れたブルーベリーをお酒につけてブルーベリー酒を作っていました。以前作ったものを飲んでみたんですが、この暑さの中で飲むとより美味しく感じました。

皆さんも朝倉の美味しい果物を食べて、暑さに負けないようお過ごし下さい！



防災学習ツアー①

今回は北九州市から「防災学習ツアー」で朝倉にやって来た子どもたち、災害や防災について話してくれた方々に書いて書いていこうと思います。

7月27日、28日の二日間で日帰りツアーを行い、二校の小学校からそうぜい18人の5・6年生代表の子どもたちが参加しました。

ツアー最初の行程では、災害当時に旧松末小学校に勤務していた先生とその教え子で当時6年生だった女子高生のお二人に、災害時の映像や資料等を使用しながら話をして頂きました。

先生には、災害時の状況や混乱した中でどうやって子ども



もたちを守ったのか、「想像力」「判断力」「決断力」この三つの力を大切にしなければいけない等の話をして頂きました。私自身、普段朝倉で子どもたちの受け入れを行う立場として、今回聞いたことは今後の活動においても非常に参考になる話ばかりでした。

女子高校生からは、災害時学校で一夜を明かした際に自分自身も非常に怖い思いをしながらも、怖がる下級生たちの為に絵本を読んであげた話や、校舎から土砂と共に本が滝のように流れ出ている光景など、子どもの視点から見たリアルな話を聞くことができました。

また、被災から少し経っても雨が降ると災害を思い出し、トラウマで泣いてしまう子どもたちの泣き声が仮設校舎の中に響いていたという彼女の話もあり、それを聞いていた先生が当時を思い出されたのか少し言葉に詰まる場面もありました。

今まで災害の話については、大人の視点で語られることが多く、子どもの視点で語られることはほとんどなかったと思います。

今回のお話は災害当時の彼女と同じ歳である子どもたちにとって、もし災害にあったら自分たちに何ができるのか、そういったことを考えるいい体験になったのではないのでしょうか。

それでは、続きはまた次回！





受入れ家庭大募集

農村体験・農村民泊の受入れ家庭を募集します！

朝倉グリーンツーリズム協議会では、都会の子ども達や住民の方々に「朝倉での暮らしや人との触れ合い」を通して「あさくら」の魅力を伝え、地域の活性化に繋がるよう活動をしています。

現在は国内の小学校、中学校、高校の教育旅行や体験の受け入れを積極的に行っています。近年では「日本の生活や文化を学びたい」ということで海外の学生さんや個人でいらっしゃる方も増えており、国際交流の場にもなっています。

そんな活動をしている協議会ですが、現在の受入れ家庭軒数では対応しきれない場合もあり、朝倉に來たいと言ってくれる方々をお断りしているケースも多々あります。

そこで、朝倉グリーンツーリズム協議会では農業体験や農村民泊を受け入れていただける家庭を随時募集しています。

是非、受け入れを通して「あさくら」の魅力を一緒に発信していきませんか？



受け入れに関してよくある質問

Q. 農家じゃないけどいいの？

A. 農家でなくても問題ありません！普段と違う生活を送ることが立派な体験となります。家で農業体験ができない場合は、近隣の受入れ家庭との連携等を協議会で調整させて頂きますので、ご相談ください！

Q. 料理はどうすればいいの？

A. 特別な料理ではなく普段食べている料理を子ども達と一緒に作って食べてあげてください。食事も立派な体験活動の一つになります！アレルギーを持つ生徒がいる場合は、事前に事務局より連絡を行い対応します。

Q. ボランティアなの？

A. 受け入れて頂いた場合は、受入れ家庭に謝礼をお支払いします。

【例】中学生3名を受け入れた場合（一泊二日二食・半日農業体験付）

5,400×3人＝16,200円

※食材や寝具等は受入れ家庭でご準備ください。

Q. 一回に何人受け入れて何泊ぐらい受け入れるの？

A. 一軒の受け入れは3～5人位を予定しています。が、事前にご相談させて頂きます。教育旅行などの受け入れで多いのは一泊となっています。

問い合わせ先

農村体験・農村民泊に少しでも興味のお持ちの方は、是非ご連絡ください！

電話・0946・24・6758